

シミ対策「メラニン色素が蓄積しにくい皮膚環境づくり」

シミの原因は、皮膚バリア機能が低下・崩壊し、①紫外線が過剰に皮膚内部に侵入する②表皮新陳代謝（ターンオーバー）が停滞した結果、メラニン色素が表皮細胞内に蓄積することでシミが発生します。海の森化粧品は、これまでのメラニン色素の生成を一時的に抑えるケアとは違い、皮膚バリアを強化することで、紫外線の皮膚内部への侵入を防ぎ、メラニン色素の過剰生成を防ぐ。また、表皮新陳代謝をとり戻し、メラニン色素が表皮細胞内に蓄積・停滞しにくい肌へとサポートします。

●メラニン色素が蓄積する原因

メラニン色素が皮膚内部に蓄積する大きな原因は、洗顔料や保湿化粧品、日焼け止めの使いすぎにあります。これらに配合の合成界面活性剤やアルコールにより、皮膚バリアが壊され続けると、紫外線が皮膚内部に侵入しやすくなり、メラニン色素が過剰に作られます。また、皮膚バリアが壊れて水分が蒸散（乾燥）すると、表皮新陳代謝も乱れてメラニン色素を含んだ古い角質を皮膚外へうまく排泄することができなくなります。結果、徐々に皮膚内部にメラニン色素が蓄積することでシミが発生します。

●従来のシミ対策

ビタミンC誘導体、トラネキサム酸、ハイドロキノン、アルブチンなどの美白成分を用いて、メラニンの生成（紫外線防御システム）を一時的にストップさせます。使用後はシミが軽減する一方、皮膚バリアは壊れたままのため、あくまでその効果は一時的です。むしろ、美白成分を浸透させるために、合成界面活性剤やアルコールを用いて皮膚バリアを壊すため、許容量以上の紫外線が侵入し、シミが濃くなる、広がりがやすくなります。また、メラニン色素が少なくなることで、真皮層に紫外線が侵入しやすくなり、シワやたるみが起こりやすくなります。

●海の森化粧品

タイプ1のセラミド（リノール酸、ビタミンE含む）を補給し、皮膚バリア（皮脂膜・角質層）を修復します。角質層からの水分蒸散をストップさせることで、表皮新陳代謝も正常に戻り、肌自ら水分保持能力のある角質層をつくれます。

許容量以上の紫外線皮膚内部への侵入を軽減し、メラニン色素が過剰に生産されないようにします。徐々に表皮新陳代謝もスムーズになり、メラニン色素を含んだ古い角質が皮膚外に排泄されていくため、メラニン色素が蓄積しにくい皮膚環境になっていきます。多少時間がかかるのと、できたシミを消すのは困難ですが、濃くならないよう、広がらないようにサポートしていきます。また、通常量のメラニン色素が表皮細胞内に残り、紫外線を吸収しますので、皮膚奥への紫外線侵入を軽減します。合成界面活性剤やアルコール不使用で、皮膚バリアを壊す心配もありません。

※そばかす（雀卵班）

そばかすは遺伝的要素が大きいので、化粧品などでの完治はとても難しいとされています。ただし、紫外線を浴びることによって濃くなる場合もあります。また、後天的にできるそばかすはシミと同じように、皮膚バリアが壊れることで、メラニン色素が過剰に生成され、ターンオーバーで排出しきれなかったメラニン色素が肌に蓄積することで現れます。いずれの場合も、皮膚バリア（特に角質バリア）を強化することが大切です。